INFORMATION

呼吸器内科勉強会

平成28年9月17日（土）第3回育和会呼吸器疾患地域連携の会を開催しました。

当院呼吸器内科上西医師より「当院での喘息管理の実際～症例を中心に～」、かわぐち呼吸器内科クリニック院長川口先生より「咳をする病気、いかに診て、何時紹介するか?」、そして、特別講演として大阪市立大学大学院医学研究科呼吸器内科学講師浅井先生より「ACOSの実践的診断と治療～喘息とCOPDの見分け方とは?～」を演題にして、実際の症例に基づきご講演いただきました。

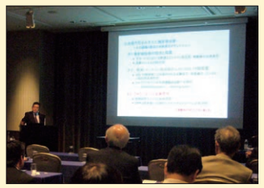
整形外科勉強会

平成29年2月25日（土）大阪市東南部病診連携の会を開催しました。

当院整形外科副部長小川医師より「当院における手術・保存療法の紹介」、京都医療センター腎臓内科医長 地域医療連携室瀬田室長より「非専門医のための腎臓病講座～鎮痛薬の選択に関連して～」を演題にして、実際の症例に基づきご講演いただきました。

循環器セミナー

平成29年5月27日（土）第7回大阪東循環器セミナーを開催しました。



当院中央臨床検査部加藤副技師長より「脳梗塞患者のエコー評価」、当院副院長脳神経外科朝井医師より「大動脈原性脳塞栓症の臨床像」、そして、特別講演として大阪市立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学准教授絵本先生より「心血管疾患予防をみすえた糖尿病治療」を演題にして、ご講演いただきました。

質疑応答の際は、活発に意見交換が行われ、とても有意義な時間になりました。今後もこのようなセミナーを検討してまいりますので、よろしくお願いいたします。

交流会

第5回「地域医療担当者交流会」を開催いたしました。各回テーマを定めて、グループワークを行っております。

医療ニーズが高い患者様が安心安全に在宅療養に移行できるよう、地域を担う多職種の方々との連携を更に深めていきたいと考えております。

編 集 後 記

梅雨も明け、本格的な夏を迎えました。毎日厳しい暑さが続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

当院では、今後も地域の諸先生方に役立つ情報を提供できるように努力してまいりますので、誌面作りについてご意見・ご感想がございましたら、電話・FAX等にてお聞かせください。皆様からのお声を心よりお待ちしております。

地域医療連絡室直通TEL：06-6758-8115　検査予約専用TEL：06-6758-9230　FAX：06-6758-8007
医療福祉相談室直通TEL･FAX：06-6758-1080

2017年7月1日 発行 Vol.15 発行：医療法人育和会

はぐくみ

IKUWAKAI

医療法人 育和会　育和会記念病院

育和会記念病院　〒544-0004 大阪市生野区巽北3丁目20番29号 TEL 06-6758-8000(代表) FAX 06-6758-5690 http://www.ikuwakai.or.jp/
介護老人保健施設 ひまわり　〒544-0012 大阪市生野区巽西2丁目9番31号 TEL 06-6751-7290 FAX 06-6751-8900

奥信濃旅行記

育和会記念病院 副院長
朝井 俊治
アサイ トシハル

地域の皆さまには、育和会記念病院をご愛顧いただきましてありがとうございます。また、近隣の多くの診療所や病院の先生方には、日頃より多大なご支援をいただいており厚く御礼を申し上げます。

さて、このたび3月24日より副院長に就任いたしました、朝井俊治と申します。副院長就任にあたり、私が脳外科医を志したきっかけとなる出来事を紹介したいと思います。

木島平スキー場（左）と牧野入りスキー場（右）

5月の連休に残雪を求めて信州までスキー旅行に行った。大阪から豊田飯山ICまでの480kmを、渋滞に巻き込まれながら、7時間かけて無事走破した。旅の目的地は奥信州木島平村。長野県北部の人口4939人の農村。ここから千曲川に沿って飯山街道をさらに北進すると、一昨年の春に北陸新幹線が開通し、多くの外国人旅行者で賑わっている野沢温泉村、2011年東北大震災の翌日に震度6強の直下型大地震に見舞われた県境の栄村を経て、新潟の十日町へ至る。木島平村の高齢化率は30%を超えていて、村内で子供を見かけることは少なく、電動車椅子で坂道を移動しているお年寄りを村のあちこちで見かけた。年平均気温11℃の豪雪地帯で、かつて厳冬期は家の屋根の高さまで雪が積もっていたが、最近の暖冬で積雪量は私が学生の頃よりも少なくなっている。

北信州木島平スキー場は、その山容の美しさから高井富士とも呼ばれる標高1351mの高社山北斜面に広がる村営スキー場である。母校の近畿大学医学部競技スキー部の定宿で、30年以上前から麓の農家の高橋さんご夫婦が経営されているペンション「シュトラーゼ」にお世話になった。このスキー場は広大な扇状中斜面が特徴で、雪質も良く、スキー技術の習得に適している。学生時代のみならず、結婚後も、よく家族で来たスキー場だ。ご夫妻の作る白米や新鮮な野菜料理がとても美味しく、今でもこのペンションは関東や関西の大学スキー部に人気の合宿所となっている。千曲川を挟んで西側の飯山に北陸新幹線の新駅ができて、東京から最短1時間44分とアクセスが良くなったのに、スキー人口の減少や村の宣伝不足もあって、周りには経営難で廃業するペンションも多い。この時期、木島平ゲレンデに積雪はなく、山麓では満開の桜と黄色い菜の花が遅い春の訪れを告げていた。朝7時に山菜の朝食をとった後、一時間かけて皇室ご用達の奥志賀高原スキー場まで移動し、一日滑った。春の湿った雪が重いが、現地でレンタルした160cmのカービングスキーが私には合っていて、うまく悪雪を滑ることが出来た。天気が良くて、昼には12℃まで気温が上昇、午後からは湿雪のコブ斜面となり、3時頃には滑る人も疎らになった。ゴンドラリフトで標高1600mから2000mまで登り、尾根沿いの全長2200mに及ぶダウンヒルコースを数本滑った後、スキーを満喫した私は怪我なく車で下山した。

ペンションシュトラーゼの全景

奥志賀のダウンヒルコースを滑る筆者

木島平スキー場の西隣には数年前から営業していない牧野入りスキー場がある。大学一年のスキー部春合宿で、この牧野入りのゲレンデ食堂の玄関にスキーで突っ込み、右の額をガラスで12cm切る大怪我をした。練習後、同級生と直滑降で競争になり、夕方のアイスバーンで全くエッジが効かなくなった。気の緩みと自信過剰による非着帽、最後の一本で無理したのが災いした。このスキー事故で私は右浅側頭動脈から大量に失血し、顔面神経前頭枝を損傷した。当時、チェーンを着装した救急車が雪道を走って現場に到着するまで30分、飯山赤十字病院に搬送するまでの30分がとても長く感じた。傷口を圧迫していたタオルは私の血液で真っ赤に染まった。東京女子医科大学から派遣されていた若い脳外科医はよほど止血に難渋したのであろう、年配の婦長を大声で怒鳴りちらしながら、局麻下に一時間以上かけて私の額の傷を縫合してくれた。痛がる19歳の私を「君も将来医者になるのだろう? 医者も所詮、客商売。顔も大事だから傷が目立たないように丁寧に縫うから、痛いけど我慢しなさい!」と励ましてくれた。縫合処置の後で、あの罵声を浴びていた婦長さんが私の耳もとでこっそりと「あの先生は伊関洋先生といって口は悪いけど、本当はとても優しい先生なのよ。」と言っていたことを覚えている。後年、女子医大の伊関教授に脳外科の学会で偶然お会いした。昔のことで私のことは覚えてなかったが、この出来事が私の初めての脳外科医との出会いであった。

村はずれの村営の馬曲（まぐせ）温泉は多くの人で賑わっていた。遠くに北アルプスや木島平スキー場を見渡せる高台の露天風呂でスキーの疲れを癒すことができた。泉質は単純泉のさっぱりとしたお湯で、木造りの建物はやや古くなっているが、秘湯の感じが出ていた。売店で「内山乃雫」という地酒を買って、夕食後にシュトラーゼのご主人とゆっくり酒を酌み交わした。その夜は遅くまで、農業の話や木島平村の昔話などを嬉しそうにご主人が話してくれた。ご主人が冷蔵庫からもう一本の内山乃雫を出してきた頃には、二人とも完全に出来上がっていた。久しぶりの信州旅行はスキーだけでなく、温泉や地酒、地元の人たちとの交流など、心癒される旅であった。翌朝、シュトラーゼの奥さんと番犬に見送られて木島平村を出発、雨天であったが、帰路は渋滞もなく、学生時代、車で10時間以上かかった旅程を5時間で帰阪した。高速道路を降りると、ペットホテルで二匹の愛犬が尻尾をふってお利口に待っていた3歳の雌犬Marieを抱きかかえるとシャンプーのいい匂いがした。

のかかりつけ医の先生方、地域住民の皆様のニーズに応えられるよう全力を尽くしたいと存じます。何かお気づきの点がございましたら、お声掛けください。何卒よろしくお願いいたします。

脳神経外科
光木 徹
ミツギ トオル

A1 鳥取県出身、大阪北野病院、国立循環器病研究センターでトレーニングを受けました。
A2 明るく挨拶もでき、感じのいい職場と思います。
A3 脳血管障害、脊髄疾患の外科を含む治療をやっています。よろしくおつきあい下さい。

呼吸器内科
浦岡 伸幸
ウラオカ ノブユキ

A1 生野区出身です。石切生喜病院で初期研修後4年間、呼吸器内科医として勤務しました。
A2 綺麗になった。
A3 本年4月より呼吸器内科に勤務させていただいている浦岡伸幸です。
高知大学を卒業後、大阪市立大学附属病院での研修をへて、石切生喜病院で4年間呼吸器診療に携わってまいりました。育和会記念病院では呼吸器全般の診療をさせていただきたいと考えております。まだまだ未熟者ですが、少しでも地域に貢献できるよう努力してまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

消化器内科
岡本 純一
オカモト ジュンイチ

A1 出身は大阪府河内長野市出身、大阪市立大学卒業です。前任地は大阪市住之江区の南大阪病院です。
A2 外も中もきれいで、働きやすい病院です。
A3 内視鏡診断・治療などの消化器診療で地域に貢献できるように頑張ります。よろしくお願いします。

総合内科
藤岡 研
フジオカ ケン

A1 出身は徳島で、大学は香川大学を2006年に卒業しています。当院の前は泉佐野のりんくう総合医療センターで勤務していました。
A2 とても清潔な感じの印象をうけました。
A3 感染を専門にしております。耐性菌やこじれた感染のこと、不明熱のことに関して、またご相談ください。

循環器内科
諸岡 花子
モロオカ ハナコ

A1 出身は岡山、大学から大阪です。前任地は近畿大学医学部付属病院です。
A2 きれいで、地域に密着した病院だと思います。
A3 以前より週1回非常勤として外来勤務をさせていただいておりましたが、出産、産休を機に大学を退職したタイミングで、こちらに転職する事となりました。地域医療に貢献できるよう努力してまいりますので、よろしくお願いします。

泌尿器科
西川 徳彰
ニシカワ ノリアキ

A1 出身は大阪府岸和田市、2006年に大阪市立大学医学部を卒業しました。前任地は大阪市立総合医療センターです。
A2 スタッフの皆さんが明るく、地域医療の中心を担っている病院という印象を受けました。
A3 地域医療に貢献できるよう、頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

整形外科
吉井 肇
ヨシイ ハジメ

A1 奈良県出身で兵庫医科大学を2015年に卒業。育和会で2年間初期研修後、そのまま整形外科に入職しました。また暫くお世話になります。
A2 院内や医局の雰囲気もよく、医療者同士が相談しやすい環境だと思いました。
A3 これまでの経験を生かして、精一杯地域の医療に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いします。

研修医
上坂 友紀
ウエサカ ユウキ

A1 大阪府八尾市出身で大阪市立大学を卒業しました。
A2 見学に来た時、雰囲気がとても良いと思いました。入職してからまだ数ヶ月しかたっていませんが、今のところ第一印象通りです。
A3 基本的なことをいっぱい質問すると思いますが、少しでも患者さんや先生方のお役に立てるようがんばりたいと思います。これからよろしくお願いします。

研修医
角野 信
カドノ シン

A1 大阪市出身です。出身大学は大阪市立大学です。
A2 明るくて清潔な印象です。また、指導医の先生方や看護師の方々、その他多くのスタッフの皆様のご指導や助言が非常に丁寧、熱心、さらには穏やかであり、ゆっくりと腰を落ち着けて研修できそうです。
A3 2年間こちらでお世話になることになりました。まだまだ学生に毛が生えたような身であり、ご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、どうぞよろしくお願いします。

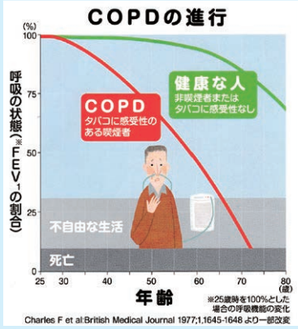
研修医
濵 宏樹
ハマ ヒロキ

A1 出身は大阪府吹田市です。この春に大阪市立大学を卒業しました。
A2 スタッフの方全員がとても親切で、患者様と研修医双方にとって過ごしやすい病院だという印象を受けました。
A3 お手数をかけることが多いと思いますが、これから2年間よろしくお願いいたします。

「COPD外来」のお知らせ

平素は呼吸器診療では大変お世話になっておりありがとうございます。

この度、火曜日と水曜日の呼吸器内科の午後診に「COPD外来」という表示を組み入れることになりました。従来どおり火曜日午後診では睡眠時無呼吸症候群外来を慢性呼吸器疾患センター長 寺川が、水曜日午後診は禁煙外来を名誉院長 栗原が続けていますが、そこに「COPD外来」の表示を加えていただきました。

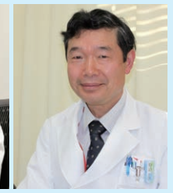


グラクソ・スミスクライン株式会社 パンフレットより引用

COPDの患者さんは我が国では約530万人程度と考えられますが、内COPDと診断され治療を受けている方は30万人足らずといわれております。
このように一般の認知率が大変低い疾患であります。

ご承知のように、2013年に出された厚生労働省の「健康日本21」(第2次)ではがん、循環器系疾患、糖尿病の3大生活習慣病の予防に加えて肺の生活習慣病としてCOPDが初めて取りあげられ、その対策に乗り出しました。まず現状では“COPD”認知率25%と十分でないものを、10年後には80%にする「目標設定」を打ち出しております。健診にもスパイロメーターを取り入れる事業所も増えているように思われますし、私達呼吸器科医も先生方と共に努力したいと思います。

呼吸器内科 栗原 直嗣


呼吸器内科 寺川 和彦

喫煙歴があり、せき、たんや階段などでの息切れを訴える方、健診の肺機能検査などで要精査といわれた方など何でもご相談いただければ幸いです。先生方と連携して慢性呼吸器疾患患者さんの早期発見、ケアの向上に役立ちたいと思っております。「COPD外来」のご利用をよろしくお願い申し上げます。

尚、他の曜日の一般呼吸器内科外来においても従来と変わらずCOPD患者さんを含めた診療を行っておりますのでよろしくお願い致します。

肝臓病外来を始めました

近年、肝臓学の進歩によりウイルス性肝炎、肝癌の診断・治療は急速に発展しております。特にC型慢性肝炎の治療としてインターフェロンフリーの経口薬が標準治療の時代となり、経口薬のみの治療で100%近いC型肝炎ウイルス排除が目指せる時代が到来しました。また、B型慢性肝炎については、核酸アナログ製剤やインターフェロン製剤によりB型肝炎ウイルスを排除できぬまでも感染を制御できるようになりました。

しかし、いかに優れた治療ができる時代になっても実際に患者さまに受診していただかなければ意味がなく、日本ではいまだに医療機関を受診していないHCV感染者は100万人にものぼると言われています。

当院では、上記のような患者さまを一人でも多く治療できるように、平成29年4月より、肝臓病外来を開始いたしました。当外来では、B型慢性肝炎、C型慢性肝炎のみではなく、自己免疫性肝炎や原発性胆汁性肝硬変等の治療や原因不明の肝障害の精査・加療、肝腫瘍の精査・加療も行っておりますので、何かございましたら、当院までご相談いただければと考えております。
今後ともよろしくお願いいたします。

消化器内科 副部長 林 健博

新任 医師紹介

今年の4月から、新しく入職した先生方に、下記の質問に答えていただきました。

Q1 ご出身・前任地はどこですか？
Q2 育和会記念病院の印象はどうですか？
Q3 皆さまへのメッセージをお願いします

整形外科副部長
苅田 充明
カリタ ミチアキ

A1 出身は大阪市、大学は金沢大学です。卒業後、整形外科に入局し約20年間北陸で働きました。前任地は富山県滑川市です。
A2 全てが新鮮で印象的です。敢えて挙げると、“人口密度が高い”、“医者一人にPCが一台ある”ところです。
A3 今までの経験を生かし、少しでも地域や病院に貢献できるように努めていきたいと思います。何卒よろしくお願いします。

呼吸器内科副部長
洲鎌 芳美
スガマ ヨシミ

A1 出身は、大阪府大阪市で前任地は大阪市立十三市民病院です。
A2 院内全体が明るく、雰囲気もよくて、駅からも近く、非常に勤務しやすい環境であると感じています。また、スタッフもみなさんとても優しく明るくて、働きやすいいい職場だと思います。
A3 本年4月より呼吸器内科医として勤務することになりました。前任の十三市民病院も、この育和会記念病院と同じような規模で、地域医療を担う病院でした。呼吸器内科全般の診療を行い、地域

消化器内科の取り組みについて

平素より、当科の医療連携にご協力いただきありがとうございます。平成25年4月より、当院消化器内科部長に着任いたしました足立賢治です。

近年、食事の欧米化（高脂肪・低繊維）に伴い大腸がんは、罹患者数・死亡者数とも増加の一途をたどっており、女性ではがんによる死亡者数では第1位、男性でも第3位となっております。大腸がんの治療にとって肝要なのは、何と申しましても早期発見・早期治療となります。早期の大腸がんでは、便通異常や血便といった自覚症状がほとんどありません。しかしながら、大腸がん検診は便検査という侵襲の少ない検査で可能です。身体に針を刺すことも、食事を抜くことも必要ありません。

今では、内視鏡検査を主体とした精密検査で、多くの早期大腸がんが発見可能となっています。大腸がんは、早期で発見されば9割近くが治癒切除可能です。切除につきましても近年、開腹手術から腹腔鏡手術や内視鏡手術の適応も拡大してきており、術後の回復も早くなってきております。当科におきましても、通常の内視鏡検査や生検検査に加えまして、NBI（narrow band imaging）や色素内視鏡、拡大内視鏡検査なども導入し、内視鏡診断能を向上させ大腸がんの早期発見に努めております。

当院では、新たな取り組みといたしまして、本年度より大腸内視鏡検査を受けられる患者様への送迎サービスを開始いたしました。高齢の患者様などで「前処置後の、病院への交通手段が不安」といった悩みも解消していきたいと考えております。また、これまでは大腸内視鏡検査は、患者様に一度当科を受診していただく必要がありましたが、今では検査のみの場合、検査前日の下剤を処方していただく必要はありますが、当科の事前受診は必要なく、電話予約が可能となっております。ぜひともご利用お願いいたします。予約方法などの詳細につきましては地域医療連絡室TEL06-6758-9230までお問い合わせください。

また、ここからは当院消化器内科の診療内容につきご紹介いたします。
消化器内科では、腹痛・便通異常・吐下血・腹部膨満感・黄疸等の症状で来られる患者様を診療しております。
消化管の疾患としましては、胃・十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、消化管機能障害、食道静脈瘤、消化管感染症（感染性腸炎、ヘリコバクターピロリ菌感染症等）、炎症性腸疾患（クローン病・潰瘍性腸炎等）、消化管出血、胃・大腸ポリープ、消化管癌（食道癌・胃癌・大腸癌等）等を扱っています。また、肝胆膵の疾患としましては、急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、肝癌、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性肝硬変、脂肪肝、非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）、薬剤性肝障害、各種肝腫瘍、胆嚢内結石、総胆管結石、胆のうポリープ、胆嚢癌、急性膵炎、慢性膵炎、膵腫瘍等を扱っています。症例がございましたらご紹介いただければと存じます。今後とも、育和会記念病院消化器内科をよろしくお願いします。

消化器内科部長 足立 賢治

近隣の先生方の紹介

病診連携でお世話になっている診療所の先生方をシリーズでご紹介します

西村クリニック 西村 秀行 先生

内科・消化器科・皮膚科・在宅診療
リハビリテーション科（鍼灸・マッサージ）
生野区巽中1-20-4　TEL　06-6758-0408

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
17:00～19:30	○	○	○		○	

特　色
・皮膚科では漢方薬を積極的に使用しています
・内科でも整形外科的な疾患でも良いと判断すれば積極的に鍼灸治療も行っています
・在宅ケア、往診を積極的に行っています（24時間）

設　備
X線レントゲン・超音波・心電図・24時間心電図
リハビリ科（ヘルストロン・低周波/高周波治療・ウォーターローリング治療）

診療に対するモットー
誠実であること・説明責任を十分に果たすこと

杉村内科クリニック 杉村 圭一 先生

循環器科・一般内科
生野区小路東3-3-7　TEL　06-6751-0643

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	○	○	○		○	○
16:00～19:00	○	△	○		○	

※火曜のみ午後 13:30～16:00

特　色
循環器疾患、各種。特に高血圧治療が専門分野です。

設　備
レントゲン装置・心電図・ホルター心電図・心臓エコー・頸動脈エコー

診療方針
当院を来院される患者さま方に対して、最新の医療情報に基づいた的確で安心いただける治療対応を目指しております。

※先生方のご投稿をお待ちしております。お問い合わせは地域医療連絡室までご連絡ください。